



h/c

human health care

2007年度 (平成20年3月期) 中間決算説明会



エーザイ株式会社
2007年10月30日

将来見通しに関する注意事項

- ・ **本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。**
- ・ **それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。**
- ・ **また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。**
- ・ **新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。**

連結決算業績

(億円、%)

	2006年度中間期		2007年度中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	増減額
売上高	3,194	100.0	3,628	100.0	114	434
売上原価	532	16.7	546	15.0	103	14
売上総利益	2,662	83.3	3,082	85.0	116	421
研究開発費	522	16.4	638	17.6	122	116
販売管理費	1,643	51.4	1,873	51.6	114	230
営業利益	496	15.5	571	15.7	115	74
経常利益	517	16.2	596	16.4	115	78
中間純利益	325	10.2	394	10.8	121	68
1株あたり純利益 (EPS、円)	113.8		138.5		122	24.7
研開費+営業利益	1,019	31.9	1,209	33.3	119	190

主要製品売上高

(億円、%)

製品名	所在地	2006年度 中間期	2007年度 中間期	
		実績	実績	前年 同期比
アリセプト® アルツハイマー型 認知症治療剤	日本	239	300	126
	米国	727	895	123
	百万ドル	631	750	119
	欧州	168	173	103
	アジア	28	40	141
	合計	1,162	1,409	121
パリエット®/ アシフェックス プロトンポンプ阻害型 抗潰瘍剤	日本	146	183	125
	米国	604	664	110
	百万ドル	524	556	106
	欧州	60	46	76
	アジア	23	30	128
合計	834	922	111	

所在地別売上高

(億円、%)

	2006年度 中間期		2007年度 中間期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年 同期比	増減額
日本	1,435	44.9	1,574	43.4	110	139
北米	1,391	43.6	1,642	45.3	118	251
欧州	265	8.3	273	7.5	103	8
アジア他	103	3.2	140	3.8	136	37
海外計	1,759	55.1	2,054	56.6	117	295
合計	3,194	100.0	3,628	100.0	114	434

外部顧客に対する売上高

所在地別営業利益

(億円、%)

	2006年度 中間期		2007年度 中間期			
	実績	構成比	実績	構成比	前年 同期比	増減額
日本	341	66.6	458	77.0	134	117
北米	133	25.9	97	16.3	73	△35
欧州	20	3.9	9	1.5	44	△11
アジア他	18	3.6	31	5.2	169	13
海外計	171	33.4	137	23.0	80	△34
小計	512	100.0	596	100.0	116	83
消去・全社	△16		△25			△9
合計	496		571		115	74

Eisai Inc. 損益実績

(百万ドル、%)

	2006年度 中間期		2007年度 中間期			
	実績	売上比	実績	売上比	前年 同期比	増減額
売上高	1,212	100.0	1,392	100.0	115	180
アリセプト®	631	52.0	750	53.9	119	119
アシフェックス	524	43.2	556	40.0	106	32
フラグミン	31	2.6	31	2.3	101	0
抗がん剤(オンタック他)	-	-	23	1.6	-	23
営業利益	107	8.9	90	6.4	83	△18
中間純利益	74	6.1	63	4.5	84	△12
営業利益 (ロイヤルティ控除前)	288	23.8	348	25.0	121	60

連結フリー・キャッシュ・フロー推移

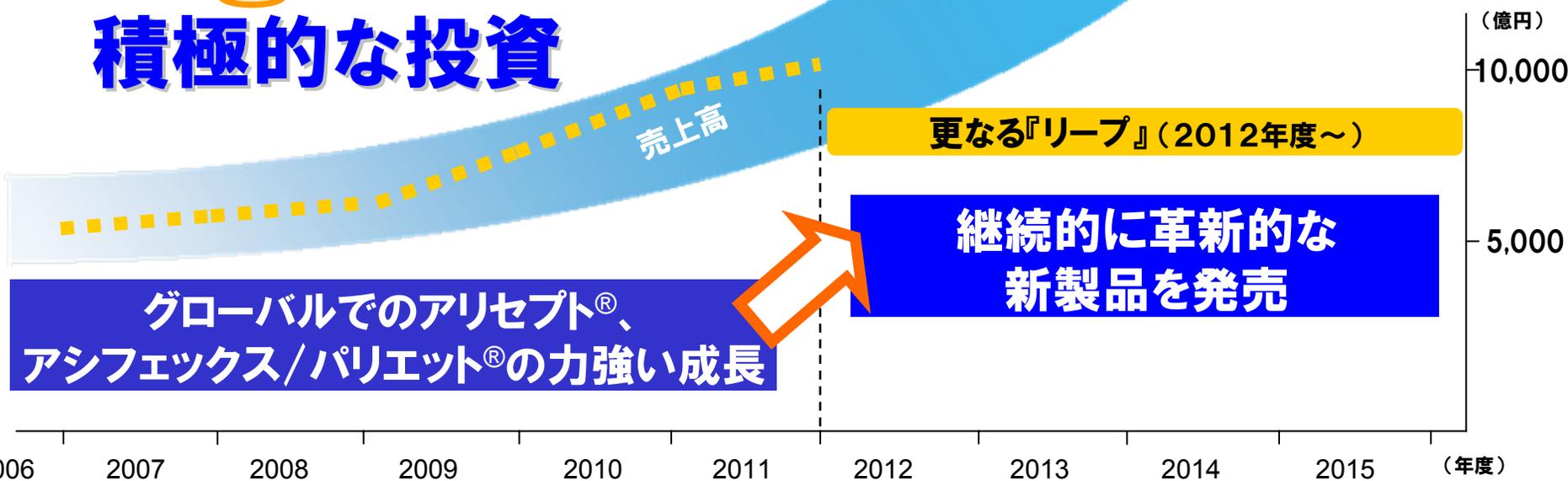
(億円)

	営業キャッシュ・フロー		資本的支出等		フリー・キャッシュ・フロー	
	実績	増減額	実績	増減額	実績	増減額
2003年度 中間期	458	263	98	△44	360	307
2004年度 中間期	408	△51	242	143	166	△194
2005年度 中間期	399	△9	192	△50	207	41
2006年度 中間期	366	△33	142	△50	224	17
2007年度 中間期	417	51	631	489	△213	△438

足元の好調さが将来の成長を確実にする

- ① インハウスR&Dへの資源投入
- ② 製品買収、M&A、ライセンス
- ③ ニュー・ナレッジへの投資

積極的な投資



グローバルでのアリセプト®、
アシフェックス/パリエット®の力強い成長

更なる『リープ』（2012年度～）

継続的に革新的な
新製品を発売

ドラマティック リープ プラン (2006年度～2011年度 中期戦略計画)

将来への投資(1)

① インハウスR&Dへの資源投入 積極的な臨床開発

上市予定

E7389 乳がん2nd, 3rdライン
E2007 パーキンソン病
神経因性疼痛
E5564 重症敗血症
D2E7 関節リウマチ、乾癬、
クローン病
クレブジン 慢性B型肝炎
KES524 肥満症治療剤

申請予定

E2012 アルツハイマー型認知症
E7820 がん(アルファ2
インテグリン発現抑制)
Lunesta[®] 睡眠導入剤

E2007
E5555

てんかん、多発性硬化症
急性冠症候群
アテローム血栓症

AS-3201
E7080

糖尿病合併症
がん(VEGF受容体チロシン
キナーゼ阻害)

E7974
E3210

がん(チューブリン重合阻害)
過敏性腸症候群

E2007
MORAb-003

片頭痛予防
卵巣がん(葉酸受容体
アルファ抗体)

MORAb-009
E7107

膵がん(メソセリン抗体)
がん(RNAスプライシング制御)

E3710
E6201

酸関連疾患/新PPI
乾癬

ドラマティック リープ プラン内に
申請・発売予定

ドラマティックリープ プラン以降に申請・発売予定

② 製品買収、M&A、ライセンス 各リージョンのニーズに合致する製品導入

日本

- T-614 (サイトカイン/イムノグロブリン産生抑制)関節リウマチ申請中
- D2E7 (アダリムマブ) ヒト抗ヒトTNF α モノクローナル抗体
関節リウマチ・乾癬申請中、クローン病フェーズIII進行中
- 睡眠導入剤エソピクロン(米国名Lunesta[®])を導入
2011年度までに海外とのブリッジングにより申請予定
- KES524(シブトラミン)を11月に肥満症で申請予定

米国

- フラグミン(血液凝固阻止剤)の米国販売権取得
- ライガンド社から皮膚関連抗がん剤4品を戦略的製品買収
- モルフォテック社を買収、がん領域における抗体技術と抗体パイプライン取得
- 潰瘍性大腸炎治療剤COLAZAL[®](米国サリックス社)の米市場における
独占的コ・プロモーション契約を締結

欧州

- ゾネグラン(てんかん治療剤)13カ国で販売好調(前年比241%)
- プリアルト(重度慢性疼痛治療剤) スウェーデンで保険償還の承認
- イノベロン(レノックスガスター症候群治療剤) 発売国拡大
9月にイギリス、アイルランドでも販売開始
- ニューロブロック(痙性斜頸) 10月から販売計上を開始
- パリエット[®]の自社販売権を獲得(スウェーデン、デンマーク、フィンランド、アイスランド)

アジア・オセアニア 中東、中国

- クレブジン(慢性B型肝炎治療剤) 中国でフェーズIII試験準備中
- ゾネグラン(てんかん治療剤) オーストラリアで製品許可取得(6月)、薬価申請中
- ヒュミラ(リウマチ治療剤) 韓国、台湾で発売以来、着実な消化増
- ガスモチン[®](消化管運動機能改善剤) タイ、マレーシアで申請中
- グルファスト[®](速効型インスリン分泌促進剤) アセアン10カ国、中国を
対象としたライセンス契約締結

将来への投資(3)

◆ モルフォテック社買収

- 独自のヒト抗体技術Human MORPHODOMA[®]、Libradoma[™]を獲得、バイオリジクス分野への本格的な参入
- 抗体医薬で米国の著名な研究機関と共同研究を実施
Johns Hopkins, National Cancer Institute, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center 他
- 探索研究ユニットの充実とグループ研究所間で緊密な連携
 - 筑波研究所(日本)
 - ボストン研究所(米国)
 - ロンドン研究所(英国)
 - カン研究所(日本)
 - モルフォテック・インク(米国)
- 抗体パイプラインの充実
 - 臨床2品(MORAb-003、MORAb-009)
 - 前臨床5品(MORAb-004、MORAb-022、MORAb-028、MORAb-047、MORAb-048)
- モルフォテック社のプログラムに米国政府研究機関より補助金
生物兵器や感染性病原物質に対して解毒剤となるモノクローナル抗体の創出
 - 米国国防総省(DoD)と共同でボツリヌス毒素に対するヒトモノクローナル抗体を作製(230万ドル)
 - 国立アレルギー感染症研究所(NIAID)と共同で感染症対策としてのブドウ球菌抗原に対するヒトモノクローナル抗体を作製(270万ドル)

将来への投資(4)

③ ニュー・ナレッジへの投資

◆ 欧州ナレッジセンター

- ・ ロンドン北部 ハットフィールドで14.5エーカーの用地を確保し建設工事開始、予定通り進行中
- ・ 欧州地域本社、創薬研究、臨床研究、生産、販売機能を集約し、相互連携による知の創造の実現
- ・ 総投資額は£100MMを予定
- ・ 2008年度に地域本社から順次新ビルで稼動開始予定



欧州ナレッジセンター建設現場

◆ 新規進出の拡大

- ・ ロシア駐在員事務所を設立(10月)
- ・ ベルギーに医薬品販売子会社設立(9月)
 - ベネルクス地域(ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ)への販売拠点

◆ インドでの知識創造

- ・ Eisai Pharmatechnology & Manufacturing Pvt. Ltdの起工式をインドのバイザグで予定
 - 原薬のプロセス研究と商業生産、製剤研究と製剤商業生産の各機能を持つ知識創造拠点
- ・ データマネジメントの戦略的パートナーシップを決定(チェンナイ)

通期連結業績見通し

(億円、%)

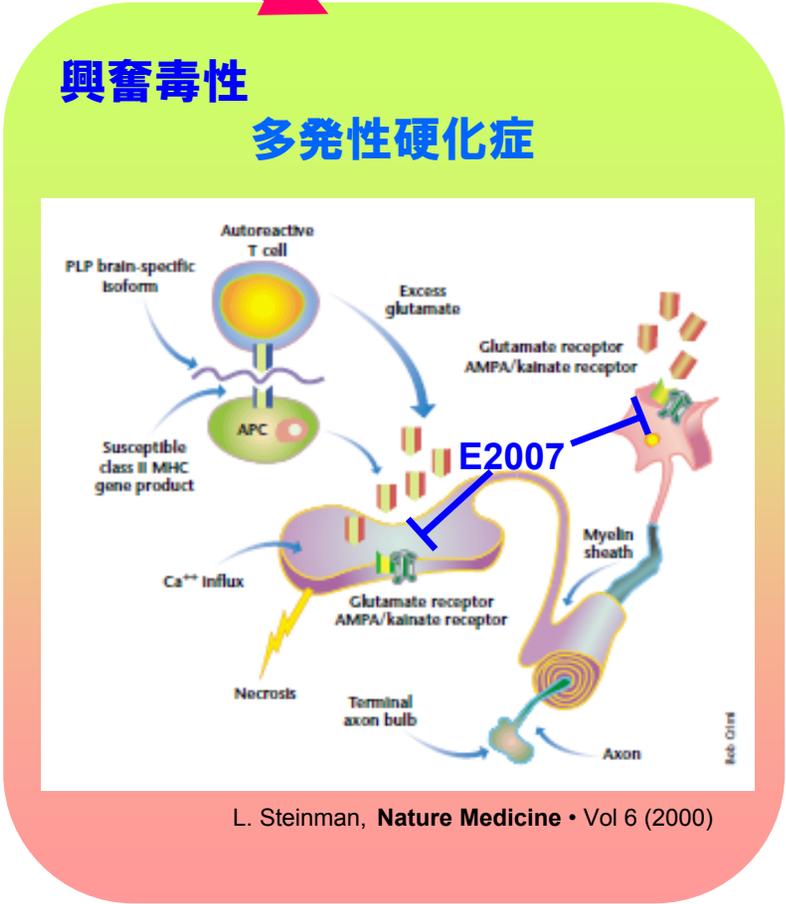
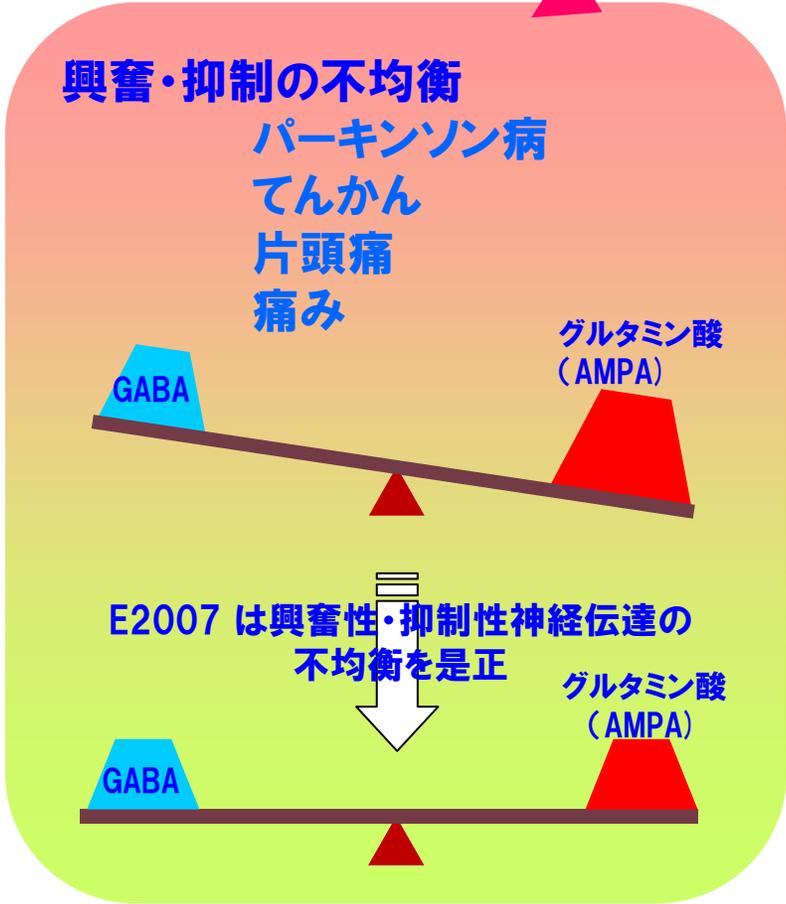
	2006年度		2007年度		
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比
売上高	6,741	100.0	7,390	100.0	110
売上原価	1,093	16.2	1,105	15.0	101
売上総利益	5,648	83.8	6,285	85.0	111
研究開発費	1,083	16.1	1,270	17.2	117
販売管理費	3,512	52.1	3,845	52.0	109
営業利益	1,053	15.6	1,170	15.8	111
経常利益	1,105	16.4	1,210	16.4	110
当期純利益	706	10.5	785	10.6	111

EPS (円)	247.8		275.5		111
---------	-------	--	--------------	--	-----

配当金 (円)	120		130	中間配当: 65円	
---------	-----	--	------------	-----------	--

E2007 (perampanel) AMPA受容体拮抗剤

AMPA型受容体の過剰興奮



E2007(perampanel)

AMPA受容体拮抗剤

パーキンソン病

- (301試験) プラセボ対照フェーズIII試験

対象: Wearing-off型の運動失調を来たすレボドパ治療中の
特発性パーキンソン病

目的: 運動機能に対する効果の比較

投与群: E2007の2mg、4mg およびプラセボ

主要評価項目: オフタイムの変化

投与期間: 30週

症例数: 764例 (目標症例数702例)

- 現在データの解析中
- 主要評価項目のオフタイムの短縮ではプラセボ投与群との間に差が認められなかった
- 良好な安全性と高い忍容性が確認された
- 302試験: プラセボを対照とした投与期間20週間の試験
- 309試験: プラセボおよび実薬を対照とした投与期間18週間の試験の結果とあわせ申請する
- 申請予定を2008年度第4四半期に変更

E2007 (perampanel)

AMPA受容体拮抗剤

神経因性疼痛

- 糖尿病性神経障害の疼痛におけるPOC試験を実施中
- 目標350例中、78例のエンロール(2007年10月24日現在)
- 2008年度POC達成、2010年度申請をめざす

てんかん

- 12mgまでの高用量での忍容性試験を実施中
- フェーズIII試験デザインをほぼ決定し、当局と相談を予定している

日本

- フェーズI実施中
- パーキンソン病および神経因性疼痛でのフェーズIIを計画中

E2007(perampanel)

AMPA受容体拮抗剤

(年度)

		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
パーキンソン病	欧米		フェーズIII 301 試験	フェーズIII 302 試験進行中	フェーズIII 309 試験進行中	申請予定		
	日本		フェーズI 試験進行中			申請予定		
神経因性疼痛	欧米		フェーズII 試験実施中			申請予定		
	日本		フェーズI 試験進行中					申請予定
てんかん	欧米	フェーズII POC 達成	忍容性試験実施中	フェーズIII 試験準備中				申請予定
片頭痛予防	欧米		フェーズII 試験終了、高用量を検討					
多発性硬化症	欧米		フェーズII POC 試験準備中					

E7389(eribulin mesylate)

微小管伸長阻害剤

• 乳がん

- 3rdライン米国サブパートH試験

FDAとのプレNDAミーティングを2007年8月に終え、11月にデータベースロックとデータ解析を予定
3rdライン適応を有する新薬が承認されたことがあり、本剤の特徴をより鮮明にするため詳細なデータ
解析をすることとした

サブパートH申請予定を2007年度第4四半期に変更

- 3rdライン欧州フェーズIII試験

2009年度申請に向けエンロール中

- 3rdライン治療剤としてFDAのFast Trackに指定

- 2ndラインフェーズIII試験

2010年度申請に向けエンロール中

- 日本におけるフェーズII

2007年6月に機構相談を終え、乳がんでのフェーズII試験を開始

• 前立腺がん(フェーズII POC試験)

- 2007年6月にエンロール完了、2007年度中のPOC完了予定

• 肉腫(フェーズII POC試験)

- エンロール中(欧州)

• 非小細胞肺癌(フェーズI b/II カルボプラチン併用試験)

- エンロール中(米国)

E7389(eribulin mesylate)

微小管伸長阻害剤

(年度)

		2007	2008	2009	2010
乳がん	米国	サブパートH申請	2ndライン フェーズIII試験進行中		2ndライン 申請予定
	欧州	3rdライン フェーズIII試験進行中		3rdライン 申請予定	2ndライン 申請予定
	日本	3rdライン フェーズII試験開始	3rdライン 申請予定		
前立腺がん	米国	フェーズII POC確認			
非小細胞肺がん	米国	カルボプラチンとの併用 フェーズI b試験実施中			
肉腫	欧州	フェーズII POC試験実施中			

E5564 (eritoran tetrasodium)

エンドキシン拮抗剤

TLR4拮抗剤として世界初の敗血症治療剤をめざす

- **重症敗血症フェーズII試験実施中**
 - 日米欧同時申請をめざした国際共同治験
 - 順調な患者エンロール、372例投薬
(2007年10月25日現在)
 - 日本のサイトでの投与開始(2007年10月)
 - アジアのサイトオープンが加速
- **2009年度の日米欧同時申請をめざす**

E5555

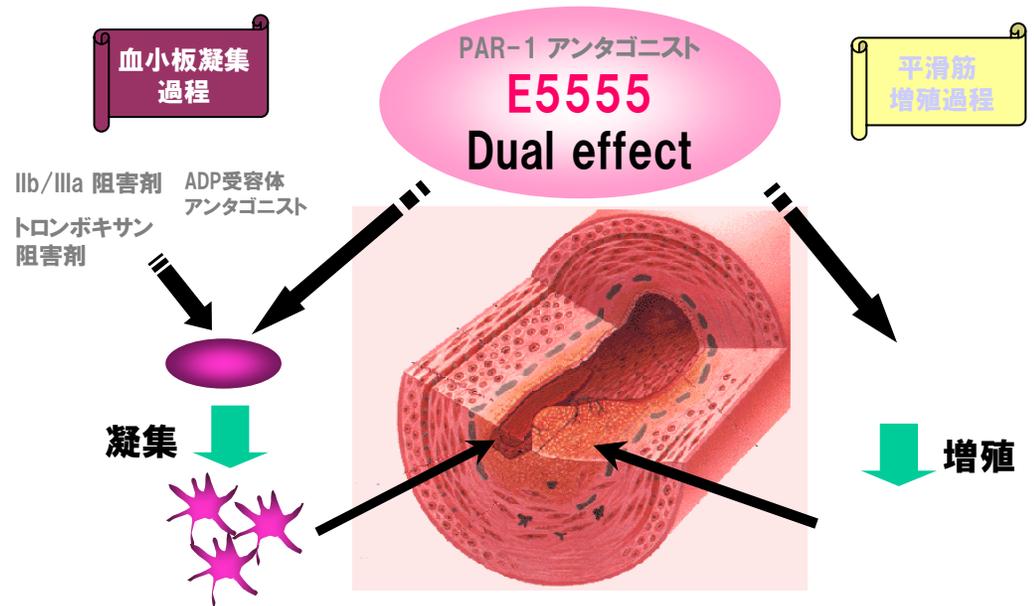
トロンビン受容体拮抗剤

• アテローム血栓症

- 海外フェーズII試験を開始
- 日本でもフェーズII試験を開始
- フェーズII試験デザイン
 - ・ ハイリスクの冠動脈疾患
 - ・ 投与量・期間および症例数
 - 1日1回投与、プラセボ、50mg, 100mg および200mg
 - 24週間投与+4週間のフォローアップ
 - 600症例
 - ・ 効果評価項目
 - 主要有害心イベント(MACE)発現率
 - 血漿中のバイオマーカー

• 急性冠症候群(ACS)

- 海外フェーズII試験を開始
- 日本でもフェーズII試験を開始
- フェーズII試験デザイン
 - ・ 症状発現から24時間以内のACS
 - ・ 投与量・期間および症例数
 - ローディングドーズとして400mgを初日に1回投与
 - プラセボ、50mg, 100mgおよび200mg
 - 600症例
 - ・ 効果評価項目
 - 主要有害心イベント(MACE)発現率
 - 最初の48時間のSTセグメントシフト
 - 血漿中のバイオマーカー



- 2008年度中のPOCをめざす
- FDAがFast Trackに指定
- 申請予定 2012年度

AS-3201

アルドース還元酵素阻害剤

- **糖尿病性神経障害および糖尿病性網膜症での開発計画をFDAと協議し、フェーズII/III試験を開始予定**
- **開発戦略**
 - **投与・観察期間**
 - **病態の進行が遅いため長期試験の必要性**
 - **投与期間の延長**
 - **対象**
 - **AS-3201の作用メカニズムから、病状の早期改善ではなく悪化・進行抑制が期待される**
 - **病態の進行抑制**
 - **バリデートされたエンドポイントで評価**
 - NIS-LL(神経障害用)
 - ETDRSスケール(網膜症用)

γセクレターゼモジュレーター

アルツハイマー病における世界初の病態修飾剤をめざす

- **ラットでの水晶体混濁に関する無影響量を把握**

- 単回投与では、投与可能最大量でも水晶体に影響しない(休薬後6カ月まで観察)
- 13週間投与安全性試験において無影響量を把握
- 水晶体混濁に関する回復性試験: 進行中

無影響量の範囲でラットで明確にAβ42を低下させる

- **臨床試験を進めるための安全性マーカーの検討**

- 水晶体混濁とコレステロール合成阻害が関連
- ラット水晶体混濁が見られた投与量で血中のコレステロールが低下
- コレステロール低下、水晶体混濁 に先行する早期安全性マーカーの確認



短期で評価できる血中の安全性マーカーと薬理学マーカーをそれぞれモニターし、安全性を確保することで、臨床試験の再開をめざす

モルフォテック抗体パイプラインの進捗

- **MORAb-003**

- 葉酸受容体アルファ抗体
- 卵巣がんフェーズII試験実施中
 - プラチナ感受性再発卵巣がん
 - 単剤およびカルボプラチン+タキサン併用
 - 目標症例数:60症例
 - 主要評価項目:寛解期間

- **MORAb-009**

- メソセリン抗体
- フェーズI試験実施中
- 膵臓がん(1st line)フェーズII試験の準備中
 - MORAb-009+ゲムシタビン vs プラセボ + ゲムシタビン
 - 目標症例数:152症例 (76症例/群)
 - 主要評価項目:生存期間
 - 2007年度第3四半期に開始予定
- 中皮腫フェーズII試験準備中
 - 2007年度中に開始予定

がんパイプライン

革新的創薬アプローチによる新規治療法の提供

血管新生阻害

E7820
アルファ2インテグリン
発現抑制、大腸がん

E7080
VEGF受容体
チロシンキナーゼ阻害

抗体

MORAb-003
葉酸受容体 α 抗体、
卵巣がん

MORAb-009
メソセリン抗体
膵臓がん
(フェーズII準備中)

サイトトキシック

E7389
微小管伸長阻害、
乳がん(3rdライン、
2ndライン)等

E7107
RNAスプライシング
制御

E7974
ヘミアステリンタイプ
チューブリン重合阻害

E7070
細胞周期G1期標的

フェーズIII

フェーズII

フェーズI

KES524(sibutramine)

肥満症治療剤

フェーズIII二重盲検比較試験の概要

対象: 肥満症

主な選択基準: BMI $\geq 25 \text{ kg/m}^2$ 、内臓脂肪面積(VFA) $\geq 100 \text{ cm}^2$

2型糖尿病と診断され $6.1\% \leq \text{HbA1c} \leq 9.0\%$

脂質代謝異常(TG $\geq 150 \text{ mg/dL}$ and/or HDL-C $< 40 \text{ mg/dL}$)

投与期間: 観察期4週間、治療期52週間、フォローアップ期12週間

投与群: KES524(10mg/日、効果不十分の場合15mg/日に増量)およびプラセボ

目標症例数: 治療期登録例として320例(160例/群)

HbA1c: ヘモグロビンA1c
 TG: トリグリセライド
 HDL-C: HDLコレステロール
 BMI: Body Mass Index
 VFA: 内臓脂肪面積

結果

342例(各群171例)を

治療期にエンロール

主要評価項目である体重変化量(kg)

および体重変化率(%)の

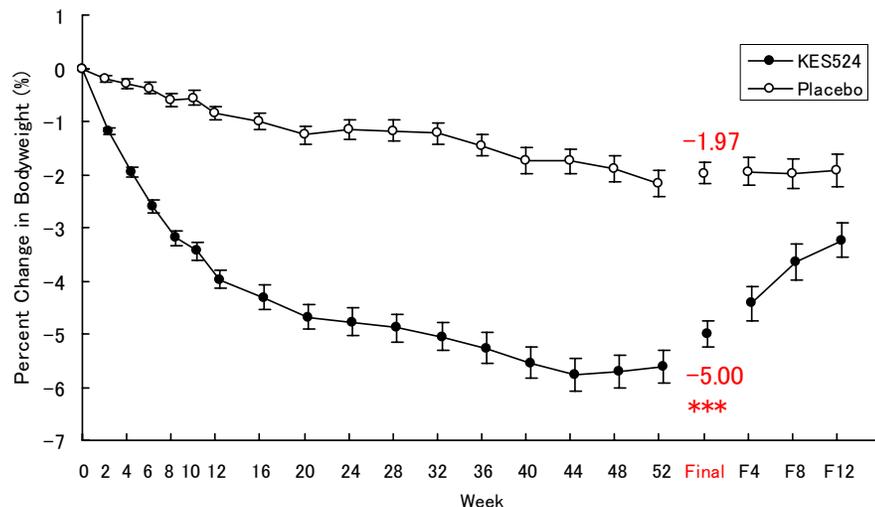
有意な改善(右図)

VFA、HbA1c、TGおよびHDL-Cに

有意な改善

安全性プロファイルは、これまでの

国内外の試験と同様



アリセプト®

高度アルツハイマー型認知症適応追加

- 日本での新効能、新用量追加承認取得(2007年8月23日)

<承認概要>

高度のアルツハイマー型認知症患者には5mgで
4週間以上経過後10mgに増量する

<新剤形> アリセプト®錠10mg
 アリセプト®D錠10mg

(12月の薬価収載と共に発売予定)

- 世界での適応追加承認状況
米国(2006年10月)、カナダ(2007年6月)、
オーストラリア(2007年8月)、ニュージーランド(2007年3月)、
インド(2006年12月)、フィリピン(2007年2月)

アリセプト、パリエット／アシフェックスの ライフサイクルマネジメント

• アリセプト®

– 徐放性製剤

- フェーズIII試験を実施中、目標1,600例中119例エンロール

(2007年10月25日現在)

- 申請予定: 2009年度

– 経皮吸収型テープ製剤(週一回製剤をめざす)

- 米国INDを提出、フェーズI開始準備中

- 申請予定: 2009年度

– レビー小体型認知症フェーズII開始(日本)

– 小児向け適応臨床試験準備中

- ダウン症、がん治療に伴う認知機能障害

– パーキンソンに伴う認知症の開発を中止

• パリエット®／アシフェックス

– 長時間作用型製剤

- びらん性胃食道逆流症およびその維持療法、非びらん性胃食道逆流症のフェーズIIIを準備中

- 申請予定: 2009年度

後期臨床テーマの充実:フェーズIIIレベルから申請中までに10品目を有す

領域	プロジェクト	作用機序	適応症	進捗状況	申請予定
神経	ルフィナマイド	ナトリウムチャンネルのモジュレーション	てんかん	欧州承認済み、米国FDAに追加データ提出予定	欧州承認 米国申請中
	E2014	ボツリヌス毒素B型	痙性斜頸	2006年12月申請	申請中
	E2007	AMPA受容体拮抗	パーキンソン病	フェーズIII進行中、2008年度申請予定	2008年度
			神経因性疼痛	フェーズIIPOC試験開始	2010年度
			片頭痛予防	フェーズIIPOC試験終了、高用量での検討を行う	2014年度
			てんかん	POC完了、高用量での忍容性を検討後にフェーズIIIを開始予定	2012年度
	AS-3201	アルドース還元酵素阻害	糖尿病合併症	フェーズIIPOC試験準備中	
	E0302	メコバラミン	筋萎縮性側索硬化症	フェーズII/III試験実施中	2012年度
E2012	γセクレターゼモジュレーター	アルツハイマー型認知症	2007年度中に米国FDAに追加データを提出し、早期のフェーズI再開をめざす	2011年度	
がん	E7389	微小管伸長阻害	乳がん	サブパートH申請用フェーズIIb(サードライン)実施中	2007年度4Q
				セカンド/サードラインのフェーズIII 実施中 (Full development)	2009年 (欧州サードライン) 2010年度 (欧米セカンドライン)
				フェーズII試験開始(日本)	
			前立腺がん	フェーズIIPOC試験進行中	
			非小細胞肺癌	カルボプラチンとの併用フェーズIb試験進行中	
			肉腫	フェーズIIPOC試験進行中	
	MORAb-003	葉酸受容体α抗体	卵巣がん	プラチナ感受性再発卵巣がん(ファーストライン)フェーズII試験実施中	
	MORAb-009	メソテリン抗体	膵臓がん	フェーズI試験実施中、膵臓がん(ファーストライン)フェーズII試験の準備中	
	E7820	α2インテグリン発現抑制	がん	セツキシマブ併用フェーズIb/II試験(サードライン)実施中(米国)	2011年度
	E7070	細胞周期G1期標的	小細胞肺癌、すい臓がん	小細胞肺癌および膵臓がんにおけるイリノテカン併用フェーズIb試験実施中(米国)	
	E7080	VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害	がん	日米欧でフェーズI試験実施中	2012年度
E7974	ヘミアステリンタイプチューブリン重合阻害	がん	フェーズI実施中(米国)	2012年度	
E7107	RNAスプライシング制御	がん	フェーズI試験実施中(米国、欧州)		
E6201	マルチキナーゼ阻害	がん	フェーズI試験準備中(米国)		
クリティカルケア、リウマチ等	T-614	サイトカイン/イムノグロブリン産生抑制	関節リウマチ	2003年9月申請(日本)	申請中
	D2E7	ヒト抗ヒトTNFαモノクローナル抗体	関節リウマチ	2005年12月申請(日本)	申請中
			乾癬	2007年9月申請(日本)	申請中
			クローン病	フェーズII/III試験進行中(日本)	2009年度
	E5564	エンドキシン拮抗	重症敗血症	フェーズIII試験を日・米・欧グローバルに実施中	2009年度
	KES524	セロトニン/ノルアドレナリン再取り込み阻害	肥満症	フェーズIII試験進行中(日本)	2007年度
	クレブジン	HBVポリメラーゼ阻害	B型肝炎	フェーズIII試験準備中(中国)	2009年度
	E5555	トロンピン受容体拮抗	急性冠症候群 アテローム血栓症	フェーズII試験実施中(米欧日)	2012年度
E6201	マルチキナーゼ阻害	乾癬	フェーズII試験開始(米国)		
E1224	エルゴステロール生合成阻害	真菌感染症	フェーズI実施中(米国)		

緑色:後期臨床テーマ